

地域包括ケアシステム推進センター (春進センター)

—地域の在宅医療・介護の連携をサポート—



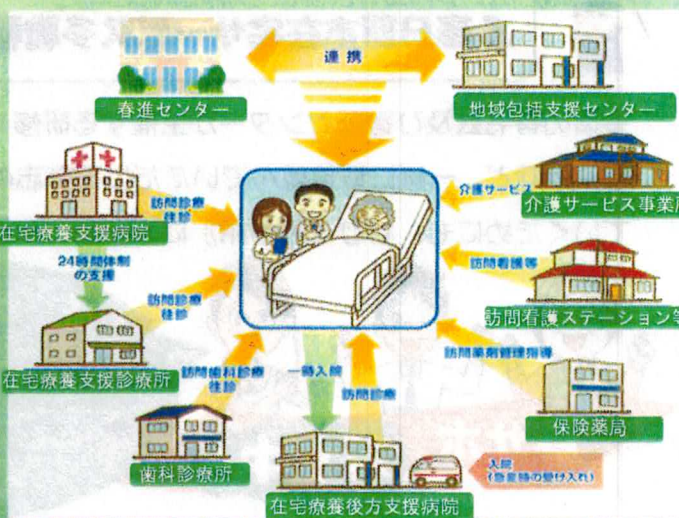
2015年4月より春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)とともに活動を始めた春進センター。春進センターの取り組みをご案内いたします

在宅医療・介護を取り巻く社会的背景

団塊世代が2025年に後期高齢者となるなど、今後しばらくは高齢者が増加すると予測されています。それに伴い、在宅で療養する高齢者の増加が見込まれており、こうした方が住み慣れた場所で療養しながら安心して生活できるよう、医療と介護が包括的に提供される体制づくりが急務となっています。

春日部市における在宅医療・介護連携推進事業

春日部市においても、医療機関や介護サービス事業所等が連携し、在宅医療・介護が一体的に提供できる体制を構築するための事業が進められています。春日部市から委託を受けた春進センターが、春日部市を中心とし、春日部市医師会等と緊密に連携しながら、医療介護連携体制の構築を図っていきます。



春日部市在宅サービス多職種連絡協議会【春宅会】とは

春日部市の、医師会・歯科医師会・薬剤師会・市立病院・認知症初期集中支援チーム・地域包括支援センター・介護支援専門員・リハビリ専門職・介護保険居宅サービス・介護保険施設サービス・春日部市・春進センターの各代表者が委員となり、月1回程度で協議会を開き、市民の在宅生活継続のための、あるべき姿を検討しています。春宅会で協議された内容を受けた春進センターが、春日部市や地域包括支援センターと連携し、地域支援事業の充実と、医療介護ネットワーク拡大のための活動を行っています。

